

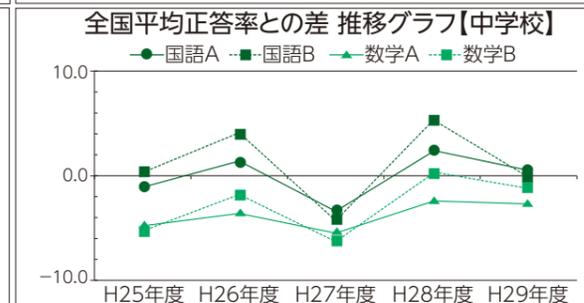
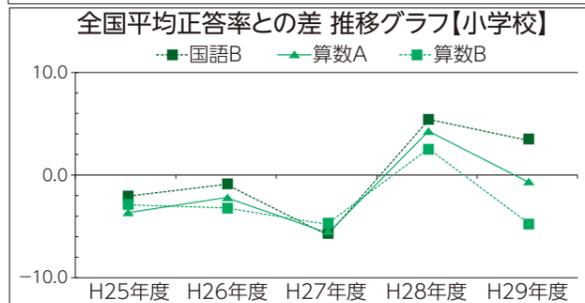
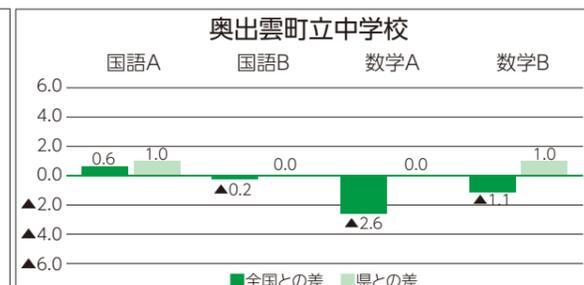
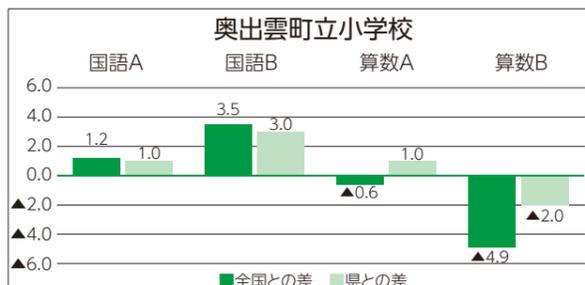
平成29年度全国学力・学習状況調査の結果概要

国語は堅調、算数・数学に課題 ～各校の継続した取組に期待～

1 学力調査結果(平均正答率の比較)

国語・算数・数学ともに、Aは〔主として知識〕、Bは〔主として活用〕に関する問題

小学校6年					中学校3年				
平均正答率	国語A	国語B	算数A	算数B	平均正答率	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	74.8	57.5	78.6	45.9	全国	77.4	72.2	64.6	48.1
島根県	75.0	58.0	77.0	43.0	島根県	77.0	72.0	62.0	46.0
奥出雲町	76.0	61.0	78.0	41.0	奥出雲町	78.0	72.0	62.0	47.0
全国との差	1.2	3.5	▲0.6	▲4.9	全国との差	0.6	▲0.2	▲2.6	▲1.1
県との差	1.0	3.0	1.0	▲2.0	県との差	1.0	0.0	0.0	1.0



2 学力調査結果の概要

※小中学生ともに、国語B及び算数・数学B問題の解答時間が十分だと回答した児童生徒の割合が、全国値より8.8～15.4%低い

小学校6年
国語A・Bは平均正答率が全国平均及び県平均を上回る。**算数A**は全国平均を下回ったが、県平均を上回る。**算数B**は、全国平均及び県平均を下回る。**算数の活用(小学校5年生以下の内容)**に課題が見られる。

中学校3年
国語Aは平均正答率が全国平均及び県平均を上回る。**国語B**は全国及び県とほぼ同等。**数学A**は全国平均を下回ったが、県平均と同等。**数学B**は全国平均を下回ったが、県平均を上回る。平成25年度からの経年推移をみると、年度を重ねるごとに概ね数学の正答率が伸びている。また、平成26年度の小学校6年生は平成29年度の中学校3年生であるが、平均正答率は**国語A・B、数学B**において伸びている。**数学の基礎的内容**に課題が見られる。

3 学習状況調査結果(児童・生徒質問紙)

■全国との比較において、比較的大きな差異がみられるもの(上位3項目、下位3項目)

項目	町立小学校	島根県	全国	町-全国
◎ 家で学校の授業の復習をしていますか	75.3	59.9	53.8	21.5
◎ 今住んでいる地域の行事に参加していますか	82.0	73.2	62.6	19.4
◎ 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	83.1	75.6	70.2	12.9
▲ 家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがありますか	34.8	45.0	50.4	▲15.6
▲ 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか	19.1	26.6	33.7	▲14.6
▲ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	68.6	64.5	59.5	▲9.1
◎ 今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.7	47.2	42.1	27.6
◎ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動(取り組んでいますか)	84.2	77.4	64.3	19.9
◎ 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.5	76.5	72.4	14.1
▲ 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思いますか	18.0	26.5	32.9	▲14.9
▲ 家で、学校の授業の予習をしていますか	19.1	30.3	31.7	▲12.6
▲ 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	60.6	63.4	71.2	▲10.6

【お問い合わせ先】
 教育総務課 有線:20-4323 電話:52-2672

地域おこし協力隊の現場を訪ねて

今回ご紹介するのは、スポーツイベントプランナーとして尾原ダム周辺地域の活性化に取り組んでいる大西健太隊員です。

この日、子ども体験活動の指導者研修会で講師としてペットボトルロケット作りを教えていました。

昨年のさくらおろち湖祭りを機に、ペットボトルロケット作りを始めた大西隊員。研修では設計図をもとに、500mlのペットボトルでロケットを完成させました。製作中は参加者一人ひとりの状況をみながら、それぞれにあったアドバイスをしている姿が印象的でした。完成したペットボトルロケットは、三成公園陸上競技場で飛ばしました。ロケットが大きな弧を描いて飛んでいくと、歓声が沸き上がりました。

大学在学中に地域おこし協力隊の制度を知り、地域おこし協力隊を募集するインターネットサイトを見たり、フェアに参加したりして情報を探していたという大西隊員。出身の島根県の魅力を伝えたいという志とスポーツ好きということもあり、奥出雲町で募集していた地域おこし協力隊員「スポーツイベントプランナー」に応募されました。

大西隊員に取り組んでいる活動を聞くと、「スポーツイベントは、トレイルランニング、トライアスロン、ロゲイニングなどがあります。10月にはさくらおろち湖祭り、3月にはダムレスト放流が行われます。他にも、みーもスクールや遠足ウィークの対応もしています」と教えてくれました。また、「イベントには県外の人が多く参加されるので、奥出雲の魅力が伝わっている反面、地元の人が参加できるような工夫が必要」と自分なりの課題を見つけていました。

最後に「地元の人々の意見を自分が可能な範囲でカタチにしていきたい。そして自分ができることを精一杯頑張りたい」と今後の抱負を語ってくれました。慎ましく、なにか大西隊員の今後の活躍を期待しています。



▶ ペットボトルロケット作りの講師として活躍

横田高校 だんだんカンパニー はで干し体験

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」

9月5日に2年生総合コース69名が稲のハデ干し体験を行いました。昔ながらのハデ干しは重労働で力を合わせ作業を終えることができました。



2年生が参加する東京研修(10月)では、仁多米・ブルーベリージャム・ランチセット・ギフトセット・猪ソーセージを販売します。活動報告につきましては次号でお知らせいたします。